

令和6年度 人権講演会

日時 ▶ **11月29日** 金 **入場無料**
19:00より

場所 ▶ 福智町地域交流センター
(福智町伊方 4478 番地 1)

講師 ▶ OVER THE RAINBOW
代表 あらまき あきら 荒牧 明楽さん

演題 ▶ **性の多様性と人権**
～ LGBTQ+をもっと身近に～

講師の紹介 Profile

1985年 福岡県柳川出身。
佐賀大学卒業後、株式会社リクルートに入社。広告業界や医療業界を経て、2018年にトランスジェンダーであることを隠さない生き方を決意し独立する。
無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）に気づく価値を提唱し、LGBTQ の啓発活動、コンサルタント事業展開など様々な活動をしている。

〒 役場 人権推進課 人権推進係 ☎ 22-7764



12月4日 水 から 12月10日 火 は

人権週間です。

国際連合は1948年(昭和23年)12月10日、世界における自由、正義及び平和の基礎である基本的人権を確保するために、世界人権宣言を採択しました。また、1950年(昭和25年)12月4日の国連総会で、12月10日を「人権デー」と決めました。私たちの周りには様々な人権問題が存在しており、こうした問題について正しい知識と理解を深めることが大切です。

福智町では人権週間に伴い人権講演会を実施します。今年度は「性の多様性と人権」についての講演内容となっており、それに関連する記事を掲載しました。

性的マイノリティとは？

性的マイノリティとは、同性が好きな人や、自分の性別に違和感がある人などのことを言います。「セクシュアルマイノリティ」「性的少数者」ともいいます。



日本では10人に1人が性的マイノリティであると言われています。しかし、日本の法律では同性婚が認められておらず、周囲からの偏見や理解が得られないことで、様々な場面で困難に直面しています。中には誰にも言えず、ひとりで悩みを抱えてしまう人もいます。

性の多様性について

「異性を愛するのが普通だ」とか、「心と体の性が異なることはない、性別は男と女だけである」としている人から見て少数という意味で、決して特別な存在ではありません。最近ではアルファベットの頭文字をとって、「LGBTQ+」とも呼ばれています。



違いを認め合える社会をめざして

性的マイノリティとは決して特別なことではありません。性の在り方は人それぞれ、全ての人の人に関係することです。まずは、多様な性について学んでみてはどうでしょうか。